

難聴によるフレイルや認知症の進行を防ぐ！

## ① ヒアリングフレイル対策

ヒアリングフレイル予防のために補聴器や難聴への理解をより一層深め、早期に相談できる機会を増やします。  
また、補聴器購入費の助成金額および対象範囲も拡充・新設します。

### ヒアリングフレイル相談事業

講演会や相談会を実施。難聴や補聴器の正しい知識の普及啓発を行い、相談体制を整備します。



補聴器相談医や認定補聴器技能者の周知・相談体制の整備、聞こえの定期相談会の実施

### 補聴器購入費助成の拡充



住民税非課税の方への助成額を拡充するとともに、住民税課税の方への助成を開始します。

<p><b>拡充</b></p> <p>住民税 非課税</p> <p>20,000円 ↓ <b>50,000円</b></p> 	<p><b>新規</b></p> <p>住民税 課税</p> <p>助成上限額 <b>20,000円</b></p> 
---	--

ヒアリングフレイル対策事業 5,671千円（相談事業850千円、補聴器購入費助成の拡充4,821千円）

## ② つながる ひろがる デジタルシニア育成事業(高齢者福祉課実施分)

### スマートフォン講座、情報発信支援

スマートフォン講座（基礎編・SNS活用応用編）  
個別相談会、デバイス貸与、コールセンター設置等

### デジタル機器を活用した介護予防支援



オンライン介護予防・教室の実施、e-sports  
体験、配信機器活用、フレイル対策機器活用

デジタルシニア育成事業 18,044千円

## ③ 生活支援コーディネーターの配置

生活支援コーディネーターを、8包括圏域のうち未配置の4圏域に配置

介護保険だけに頼らない地域区民によるサービスの創出・活用（社会参加促進、地域資源把握・構築）

生活支援体制整備事業の拡充 15,889千円

## ④ 入浴のみの短時間の デイサービス利用を実施します

新規

一人での入浴が困難な方向けに、入浴特化型デイサービス(短時間・送迎あり)のモデル事業を実施します。

自宅にお風呂がない方や歩行が困難な方に、移動支援も含めた入浴支援を総合的に検討し、令和6年度からの新たな通所型サービスの実施を目指します。



【対象者・圏域】入浴ニーズが高く、銭湯や介護サービス事業所が少ない日常生活圏(2地区)で要支援認定者等の対象者を選定。

(想定)南部地区10名/回、東部地区5名/回

【実施期間】令和5年6～8月(月4回 3か月間)

【実施方法】2か所の事業所に運営を委託

【利用料】1人500円/回

入浴特化型デイサービスモデル事業  
1,000千円

## ⑤ おむつ等助成金額の拡充

物価高騰等の伸び率113.5%を考慮し、  
上限額を月額 **6,000円 → 7,000円** に引きあげます。

紙おむつ等助成金額の拡充  
20,614千円



## ⑥ 高齢者理美容助成の拡充

在宅高齢者に対して、理美容業者が自宅まで出張して散髪・洗髪の施術に使える理美容助成を拡充します。



①対象者の拡充	要介護4以上	⇒	3以上
②利用回数の拡充	年6枚	⇒	年12枚
③助成額単価の増	6,200円	⇒	7,000円



高齢者理美容費助成事業の  
拡充4,239千円

## ⑦ 精神疾患を持つ高齢者対応強化

精神疾患を持つ高齢者への対応力強化のため、精神科医、臨床心理士等の専門職による相談やアウトリーチ、職員研修を実施

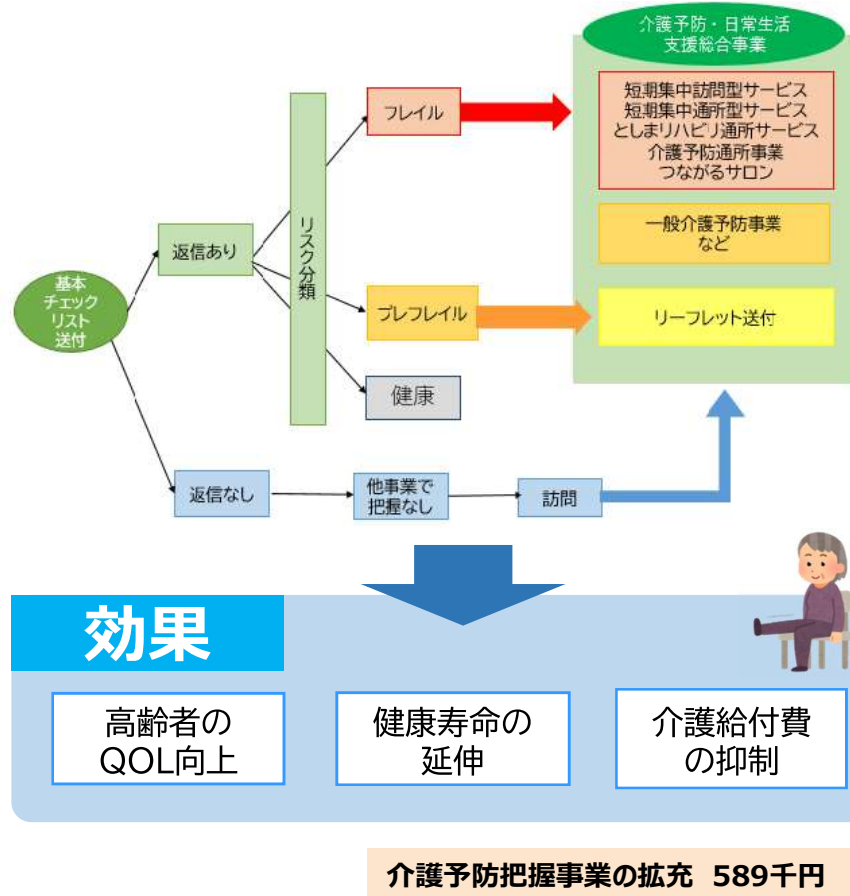
高齢者虐待防止事業の拡充 1,100千円

## フレイル予防の推進

### ⑧ 介護予防ニーズの把握と支援

#### 80歳の方のフレイルリスクを把握

初回介護認定の平均年齢に近い80歳の方で介護保険認定を受けていない高齢者へ基本チェックリストを郵送。



### ⑨ 短期集中通所型サービスの拡充

週1回、約3か月、リハビリの専門職による運動プログラムを提供し、高齢者の身体機能の回復・向上を図ります。



- ・3か月の短期利用
- ・運動、栄養を組合わせた指導
- ・利用者の自立意欲を引き出すコーチング

#### 運動機能の改善効果

参加者の7割以上がサービス終了後に地域活動に参加

短期集中通所型サービス(通所型サービスC)実施内容の拡充  
2,055千円

### ⑩ 保健事業と介護予防の一体的実施

#### 健康状態不明者等の把握及び支援

直近2年間に健診・医療・介護給付のデータがない後期高齢者へ基本チェックリストを郵送し、回答に基づきリスクに応じた情報及びサービスを提供

保健事業と介護予防の一体的実施事業の拡充 250千円